



菅波 茂

NGOとNPOの違いについて述べたい。両者は似て非なるものである。決定的な差は「国境線」である。なぜなら近代国家の特徴は国境線が明確なところである。古代国家は中心となる都ありて遠くかれば辺境となりつつしか隣国となる。国境線が明確になることにより、多くの疑似少数民族が出現した。例えばクルド人はトルコ、イラクそしてイランで少数民族の悲哀を味わっている。この人がクルド人の総数は2000万〜3000万人である。民族自体としては決して少数民族ではない。ひとえに国境線が引かれたために疑似少数民族になった。同様の少数民族の悲哀は18世紀以後、植民地独立により世界中至る所に目撃される。

NGOはNon Govern

mental Organizationである。Non Government とは国境に係なく活動するという意味である。すなわちNGOとは国境に関係なく少数者の「人権」のために活動する団体である。

NGOとNPO

NGOはなぜヨーロッパで育ち全世界へと活動を展開していったのか。理由は簡単である。ヨーロッパはインドの面積に多数の明確な国境を有する近代国家があり、国家間紛争を繰り返してきた。そこでは弱者の人権のための超国家的活動が求められた。例として赤十字をあげたい。現代では人工的国境線によって部族が分断させられたアジアおよびアフリカにおける紛争による人権擁護のために国境を越えた活動が著名である。しかし、

いずれの国においても国家主権は存在し尊重されている。したがって、NGOは国家主権の連合体である国連と二人三脚の活動展開をしている。

NPOはNon Profit Organizationである。多様性に富んだ米国の国内問題を解決するために必要とした民間の力を育成するために生まれた組織である。その理由は米国の伝統である「小さな政府、大きな民間」に由来する。

日本国内にも解決すべき問題は多い。少子高齢化社会、過疎、環境、消費、災害などである。注目すべきは日本の国内問題に関与しているいわゆるNGOでない無数の民間の団体である。その活動が紹介されるのはボランティア活動としてである。NGOもボランティア活動である。NPOはNGOも含んだ「ボランティア活動団体の総称」としてみまわす。

(アジア医師連絡協議会代表、

題字は筆者)